

令和 5 年 6 月 28 日現在

機関番号：32606

研究種目：基盤研究(A) (一般)

研究期間：2016～2020

課題番号：16H02063

研究課題名(和文) 保育者の学習過程を支える園内研修とリーダーシップの検討

研究課題名(英文) Conferences in centers for educators' professional learning and Leadership

研究代表者

秋田 喜代美 (Akita, Kiyomi)

学習院大学・文学部・教授

研究者番号：00242107

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 24,200,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、園内研修のシステムと展開過程およびその規定因となる園におけるリーダーシップのあり方(園長や主任、同僚関係)に着目し、リーダーシップが保育者の専門性の学習過程および園の保育の質向上に及ぼす影響プロセスを解明しモデル化を実施し、専門書籍「学びが広がる 深まる 園内研修でもっと豊かな園づくり」(中央法規出版)を刊行した。またさらに、園内研修事例や調査研究分析の見解を踏まえて、専門性の組織的学習過程モデルを考え、園内研修に関わる園長と主任のリーダーシップに必要な専門性を同定し、園長・主任の専門性を同定の上、園内研修に有用な研修資源やツール開発を行い4冊のブックレットを刊行した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

園内研修における保育者の学習過程を園の研修のあり方や園長のリーダーシップとの関係において実証的に明らかにし、モデル化をはかった研究はこれまでになく、当該領域において研修の質やその発展の過程について、組織学習の視点から明らかにした点が学術的意義である。またその研究成果を学術図書や論文にまとめるだけでなく、実際の園での研修に活用できるように4冊のブックレットにまとめ電子的に全国に配布するなど知見に基づくあうとリーチ活動を行うことで、実際に各園がそのリーフレットを参考にした研修実施を行うなどの社会的影響力を持ったことが、社会的意義といえる。

研究成果の概要(英文)：This research project focused on the system and development process of in-center continuous professional development and its determinants, such as the nature of leadership in ECEC settings (relationship between the director, head, and colleagues), and clarified and modeled the process by which leadership influences the learning process of Early childhood education and care professionals and the improvement of quality in ECEC. The book titled "Deepening the learning process: Creating more enriched ECEC settings through on-site training" was published. It is based on the views from the analysis of in-house training cases and surveys and research. We also considered the organizational learning process model of expertise, identified the expertise required for the leadership of directors and chiefs involved in in-school training, identified the expertise of directors and chiefs, and developed training resources and tools useful for in-house training, and published four booklets.

研究分野：保育学

キーワード：園内研修 リーダーシップ ミドルリーダー 保育者 保育学 園長

## 1. 研究開始当初の背景

(1)保育の質の向上のためには、保育者の研修が最も有効であることが国際的にも指摘されてきているが、日本において全国的にどのように園内研修が行われ、それがどのような保育者の学習過程を経て、保育者の専門性や保育の質の向上につながるのかは明らかにされていなかった。

(2)また園内研修における方法は議論されていたが、園長や主任等の管理職がどのようにその研修にマネジメントに関与することが有効であるのか、またそのバリエーションも明らかにされてきてなかった。

## 2. 研究の目的

本研究の目的は、1の研究の背景を踏まえ、大きく3点を設定した。

第1に園内研修における保育者の学習過程について園内での保育者の過程にどのような相違や共通性があるのかを明らかにし、その学習過程が園内研修のあり方に与える影響を明らかにすること、また園による研修のバリエーションを明らかにするということである。特に本研究では、研究分担者・協力者が園内研修に参画関与している園での研修の分析も行うことで、アクションリサーチとしての特徴を持つことである。

また第2に、園内研修における園長やミドルリーダーのリーダーシップが研修や学習過程に及ぼす影響を明らかにすることである。特に日本の私立幼稚園、民営保育所においては、ファミリービジネスという特徴を持つ園が多いため、この特質にも注目した検討を行うことである。

そして第3に、第1、第2の目的を踏まえ、各園が参考にできるような園内研修ツールを開発することである。実際にツール開発の効果等への聞き取り調査も含め、ツール開発を行うことである。

## 3. 研究の方法

(1)研究の第一の目的のために、園内研修への継続的な関与によるアクションリサーチ、および当該園への聞き取りインタビュー調査を16園に対して質的集中的に実施し保育者の学習過程のプロセスの検討を行った。(協力者数延べ399名)

また一方で全国的な研修の調査のために、保育者286名への質問紙調査を実施しその回答を回答を分析することで量的な調査検討を行った。

(2)研究の第2の目的のために、全国の私立幼稚園352名、民営保育所(認定こども園を含む)836園への質問紙調査と半構造化面接インタビューを実施した。またミドルリーダーについても、同様に面接調査を実施した。

(3)第3の目的のためには、(1)(2)の知見を踏まえながら、その要因をわかりやすくデザイン化したリーフレット尾を作成し、その効果を実際の園長へのオンライン面接インタビューを実施した。

#### 4. 研究成果

実証的研究から主に明らかにしたのは以下の点である。

(1) 保育者の研修における学びの過程について、16 園の園内研修直後の保育者へのアンケートからその思考過程での経験や情動を分析しカテゴリーを抽出した。

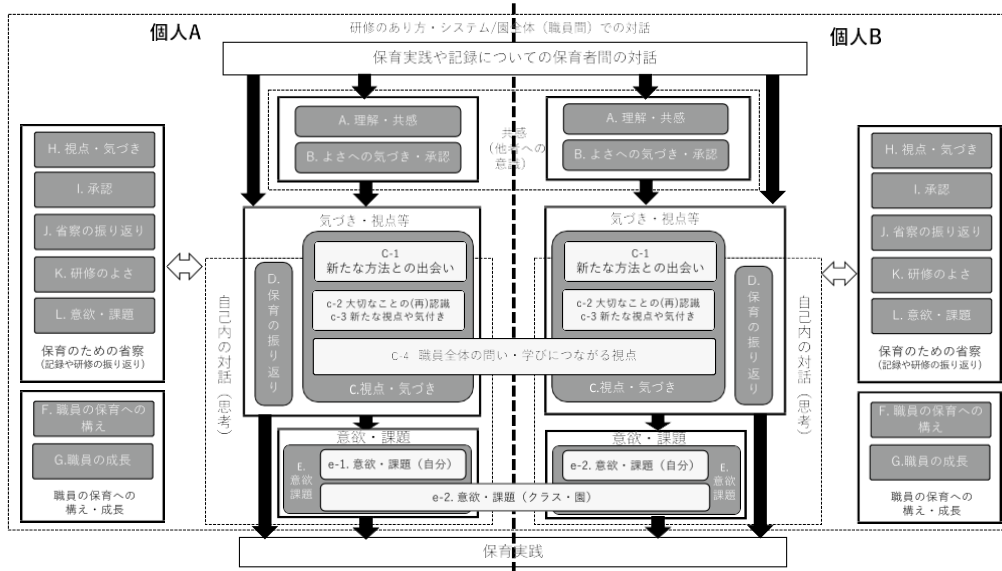


図1 園内研修における保育者の経験過程 (淀川他、2020)

そして園内研修では、他の職員との対話を通して、他の職員の意図や思い、悩みや試行錯誤に対して理解・共感する（【A. 理解・共感】）、園の保育のよさに自分たちで、もしくは外部講師に認められて気づく（【B. よさへの気づき・承認】）など、他の職員の発言によって感情が喚起されたり、他の職員の視点に立ってみたり、自分たちの保育への肯定感を持つといったことが心に残ったり、研修を活発にしたり深めたりしており、理解や共感、自分たちの保育のよさへの気づきは、保育について共に考えるという同僚性や、チームとしての保育者の関係性を支えている可能性があることが示された。また、実際の保育を見ることや記録・写真・映像などを通して実践に関して対話する中で、新しい保育方法を知ったり、大事なことを再認識（あるいは暗黙的なものを意識化）したり、新たな視点を得たりして（【C. 視点・気づき】）、それらが学びに繋がっていると考えられる。さらに、外の職員の発言により、自分の保育を改めて振り返る（【D. 保育の振り返り】）ことが、考えることを促していることも示唆された。新たな保育方法・大事なことの再認識・新たな視点を得るといったことはまた、保育実践への意欲・課題（【E. 意欲・課題】）へと繋がり、明日からの実践に繋げようとする方向へと向かっていくことも示唆された。そのモデル化が図1である。

(2) 第二に園の主任のリーダーシップに関して、私立幼稚園主任教諭が自身のリーダーシップをどのようなものとして捉え、また自身の役割をどのようなものとして認識しているのかを私立幼稚園主任教諭 8 名へのインタビューを行い、質的データ分析方法である

M-GTA (木下 2003) を用いて分析を行った。その結果、25 の「分析概念」、9 つの「カテゴリー」、3 つの「コア・カテゴリー」が生成された。主任は、園長と職員集団との意思疎通を図り、それぞれの意図を伝達する「つなげる」ことと、カリキュラムの調整や職員への指導、心理的支援といった職員集団を「まとめる」ことをリーダーシップと捉える一方で、この2つのリーダーシップの間で、やりがいと共に葛藤の「板挟み感」を感じていることを明らかにした。

(3) また私立幼稚園のファミリー・ビジネスにおける先導的・実質的・制約的事業継承の3タイプに着目し、事業継承に対する意識や課題について全国の私立幼稚園 861 園に調査を行ない、以下の6点を明らかにした。①血縁関係のある親から園を引き継ぐ場合、子どもは幼少期から社会人までに継承のことを理解し、園を引き継ぐ意識を持つ、②親から園を受け継いだ園長は、園長職を自身の子どもの引き継いで欲しいと考えており、継続してファミリー・ビジネスを展開していきたいという願いを持つ傾向がある一方で、親戚から園を受け継ぐとその願いは低くなる傾向がある。③先導的事業継承と実質的事業継承のタイプでは継承で大事にしたいと感じることに相違がある。④50 代の場合は地域との関係性を後継者に大事に引き継ぎたいという回答が有意に多く、30 代では、職員との関係性を後継者にうまく引き継ぎたいという回答が有意に多い傾向があった。幼少期から引き継ぐことを意識している場合、先導的事業継承となる傾向がある。また、社会人になってから引き継ぐことを意識する場合、実質的事業継承になる傾向がある。⑥私立幼稚園の園長が捉える事業継承の課題は多様であるが、課題の中心となっているのは、教職員の処遇改善である。

(4) 上記(3)を踏まえ、私立保育所の事業継承に対する所長の意識を、質問紙調査を全国の私立保育所 836 園の所長の回答を分析し、以下の5点を明らかとした。①血縁関係のある親から引き継いだ所長は、幼いころから社会人になるまで幅広く引き継ぐことを意識する傾向があり、突然引き継ぐことはあまりないこと、②現在の所長が親戚から園を受け継いだ場合、所長を引き継いでほしいという思いはあまりなく、配偶者や祖父母から受け継いだ場合、所長を引き継いで欲しいと考えていること、③事業継承タイプによって最も大事に継承したいと考えることへの回答数の有意な差は特になく、④30 代は「職員との信頼関係」を多く回答する傾向がある一方で、40 代の所長は、「職員との信頼関係」を有意に少なく回答する傾向があること、⑤私立保育所では、社会人になってから引き継ぐことを意識することで、自身が園長になる前から、様々な面で改革を進めたり、改革したりするタイプの事業継承となる傾向になることが明らかとなった。また先代との関係性を良好にしながら継承者に改革を園長になる前から進められるような体制を取っていくことが事業継承を円滑に進めていく際のポイントとなることが示唆された。

文献詳細は以下にすべて記している。

秋田喜代美・小田豊(編著) 上田敏丈・門田理世・鈴木雅敏・中坪史典・野口隆子・箕輪潤子・椋田善之・森暢子・淀川裕美 2023『学びが広がる深まる 園内研修でもっと豊かな園づくり』中央法規

図1 出典 淀川裕美・箕輪潤子・門田理世・秋田喜代美 2020「園内研修における保育者の学びの構造化—心に残った・保育への理解が深まった発言に着目して」東京大学大学院教育学研究科紀要,59,485-516

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計19件（うち査読付論文 8件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 11件）

1. 著者名 上田敏文・秋田喜代美・芦田宏・小田豊・門田理世・鈴木正敏・中坪史典・野口隆子・箕輪潤子・椋田善之・淀川裕美・森暢子	4. 巻 26
2. 論文標題 事業継承における私立幼稚園園長のリーダーシップに関する研究	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 国際幼児教育学研究	6. 最初と最後の頁 51-64
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 鈴木正敏・淀川裕美・箕輪潤子・椋田善之・森暢子・野口隆子・上田敏文・中坪史典・門田理世・芦田宏・小田豊・秋田喜代美	4. 巻 55
2. 論文標題 園内研修の課題と工夫，方向性に関する研究 管理職と職員の回答からの検討	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 兵庫教育大学 研究紀要	6. 最初と最後の頁 133 - 140
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 淀川裕美・箕輪潤子・門田理世・秋田喜代美	4. 巻 59
2. 論文標題 園内研修における保育者の学びの構造化に関する試み：心に残った・保育への理解が深まった発言に着目して	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 東京大学大学院教育学研究科紀要	6. 最初と最後の頁 485-516.
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 森 暢子，門田 理世，野口 隆子，鈴木 正敏，芦田 宏，箕輪 潤子，秋田 喜代美，小田 豊，無藤 隆，上田 敏文，中坪 史典	4. 巻 2
2. 論文標題 幼児期から児童期における人とかかわる力に関する縦断研究 ～協働性の質的変容に着目して～	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 九州産業大学人間科学部紀要 「人間科学	6. 最初と最後の頁 36-45.
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 上田敏丈	4. 巻 56(3)
2. 論文標題 保育者は保育カンファレンスを行うことで何を学ぶのか？－質的研究のメタ統合の試みから－	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 保育学研究	6. 最初と最後の頁 235-239
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 箕輪潤子・秋田喜代美・安見克夫・増田時枝・中坪史典・砂上史子	4. 巻 55(1)
2. 論文標題 時間に制約のある片付け場面における保育者の援助と意図	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 保育学研究	6. 最初と最後の頁 6-18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 上田敏丈・中坪史典・吉田貴子・土谷香菜子	4. 巻 5
2. 論文標題 実践知としての保育者の「見守る」行為を解釈する試み	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 子ども学	6. 最初と最後の頁 223-239
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 辻谷真知子・秋田喜代美・砂上史子・高木恭子・中坪史典・箕輪潤子	4. 巻 24
2. 論文標題 幼稚園ホームページの記述スタイル：子どもの姿を描く常設の項目と更新する項目に着目して	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 国際幼児教育研究	6. 最初と最後の頁 77-90
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 秋田喜代美	4. 巻 150
2. 論文標題 主体的な遊びを育てることの価値とアポリア	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 発達	6. 最初と最後の頁 18-22
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 秋田喜代美	4. 巻 10
2. 論文標題 保幼小連携 育ち合うコミュニティ創り	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 新教育課程ライブラリ	6. 最初と最後の頁 18-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 淀澤真帆・中坪史典	4. 巻 66
2. 論文標題 レジヨ・エミリアの幼児教育から読み解く日本の「環境を通じた教育	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 広島大学大学院教育学研究科紀要 第三部 (教育人間科学関連領域)	6. 最初と最後の頁 117-124
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 濱名潔・河口麻希・中坪史典	4. 巻 39
2. 論文標題 いざこざを経験した幼児はなぜ再び友だちと遊び始めたのか? -砂場で遊ぶ4歳児の事例分析-	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 幼年教育研究年報	6. 最初と最後の頁 53-60
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 淀澤真帆・津川典子・城田花弥・井本美穂・中坪史典	4. 巻 39
2. 論文標題 幼児の遊び始めから切り上げまでの過程に関する研究-「それなりに」楽しむA太の事例から	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 幼年教育研究年報	6. 最初と最後の頁 23-32
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 秋田喜代美・淀川裕美・佐川早季子・鈴木正敏	4. 巻 56
2. 論文標題 保育におけるリーダーシップ研究の展望	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 東京大学大学院教育学研究科紀要	6. 最初と最後の頁 283-306
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 野澤祥子・淀川裕美・高橋翠・遠藤利彦・秋田喜代美	4. 巻 56
2. 論文標題 乳児保育の質に関する研究の動向と展望	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 東京大学大学院教育学研究科紀要	6. 最初と最後の頁 399-419
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 秋田喜代美	4. 巻 1
2. 論文標題 日本における保育の課題と展望	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 チャイルドリサーチネット	6. 最初と最後の頁 6-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 上田敏丈・秋田喜代美・芦田宏・小田豊・門田理世・鈴木正敏・中坪史典・野口隆子・箕輪潤子・棕田善之・淀川裕美・森暢子	4. 巻 28
2. 論文標題 私立幼稚園園長のキャリアと職務内容に関する研究	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 国際幼児教育学研究	6. 最初と最後の頁 173-190
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 上田敏丈・秋田喜代美・芦田 宏・小田 豊・門田理世・鈴木正敏・中坪史典・野口 隆子・箕輪 潤子・棕田善之・淀川裕美・森暢子	4. 巻 26
2. 論文標題 事業継承における私立幼稚園園長のリーダーシップに関する研究.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 国際幼児教育学研究	6. 最初と最後の頁 51-64
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 棕田善之・秋田喜代美・門田理世・鈴木正敏・中坪史典・上田敏丈・野口隆子・箕輪潤子・淀川裕美・森暢子	4. 巻 29
2. 論文標題 私立幼稚園の事業継承タイプ別にみる園長の継承への意識や課題に関する研究	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 国際幼児教育学研究	6. 最初と最後の頁 19-36.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

〔学会発表〕 計21件(うち招待講演 3件/うち国際学会 5件)

1. 発表者名 淀川裕美・箕輪潤子・門田理世・秋田喜代美・野口隆子・上田敏丈・中坪史典・森暢子・芦田宏・鈴木正敏・棕田善之・小田豊
2. 発表標題 園内研修における学びの構造化に関する試み81」 心に残った発言・研修が活発になった発言に注目し
3. 学会等名 日本発達心理学会第31回大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 箕輪潤子・淀川裕美・門田理世・秋田喜代美・野口隆子・上田敏文・中坪史典・森暢子・芦田宏・鈴木正敏・椋田善之・小田豊
2. 発表標題 園内研修における学びの構造化に関する試み82」 園内研修で学んだこと・他者の発話と学びのつながりに着目して
3. 学会等名 日本発達心理学会第31回大会 2020.3.2 PS3-10.
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 野口隆子, 上田敏文, 椋田善之, 秋田喜代美, 芦田宏, 門田理世, 鈴木正敏, 中坪史典, 箕輪潤子
2. 発表標題 園長の役割と園運営の効果的な方法に関する研究 ー経験年数による比較ー
3. 学会等名 日本教育方法学会第55回大会, 2019年09月28日
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 椋田善之, 上田敏文, 小田豊, 芦田宏, 門田理世, 鈴木正敏, 中坪史典, 野口隆子, 森暢子, 淀川裕美
2. 発表標題 私立幼稚園の事業継承に関する実態調査(2) ー事業継承における工夫と課題ー
3. 学会等名 日本保育学会第72回大会,
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 上田敏文, 椋田善之, 秋田喜代美, 小田豊, 芦田宏, 門田理世, 鈴木正敏, 中坪史典, 野口隆子, 箕輪潤子, 森暢子
2. 発表標題 私立幼稚園の事業継承に関する実態調査(1) ー園長のキャリアと職務ー
3. 学会等名 日本保育学会第72回大会,
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 上田敏丈・棕田善之・秋田喜代美・小田豊・芦田宏・門田理世・鈴木正敏・中坪史典・野口隆子・箕輪潤子・森暢子
2. 発表標題 事業継承後の私立幼稚園園長のリーダーシ
3. 学会等名 日本保育学会第71回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 棕田善之・上田敏丈・小田豊・芦田宏・鈴木正敏・中坪史典・野口隆子・箕輪潤子・森暢子・淀川裕美
2. 発表標題 事業継承後の私立幼稚園園長のリーダーシ(2)
3. 学会等名 日本保育学会第71回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Masatoshi Suzuki, Yumi Yodogawa, Hiroshi Ashida, Yutaka Oda, Harutomo Ueda, Riyo Kadota, Fuminori Nakatsubo, Takako Noguchi, Junko Minowa, Nobuko Mori, Yoshiyuki Mukuda
2. 発表標題 How Japanese ECEC leaders and practitioners identify their on-site professional development needs?
3. 学会等名 European Early Childhood Education Research Association 28th (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 淀川裕美・箕輪潤子・鈴木正敏・棕田善之・森暢子・野口隆子・上田敏丈・中坪史典・門田理世・芦田宏・小田豊・秋田喜代美
2. 発表標題 保育への理解が深まったと感じる園内研修の特徴に関する分析
3. 学会等名 日本乳幼児教育学会第28回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 鈴木 正敏, 淀川 裕美, 箕輪 潤子, 棕田 善之, 森 暢子, 野口 隆子, 上田 敏丈, 中坪 史典, 門田 理世, 芦田 宏, 小田 豊, 秋田 喜代美
2. 発表標題 園内研修の課題と改善点に関する研究
3. 学会等名 日本発達心理学会第30回大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 上田敏丈・小田豊・芦田宏・鈴木正敏・門田理世・中坪史典・野口隆子・箕輪潤子・森暢子・棕田義之
2. 発表標題 私立幼稚園園長のリーダーシップに関する研究 ―事業継承に着目して―
3. 学会等名 日本保育学会第70回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 門田理世・箕輪潤子・小田豊・芦田宏・鈴木正敏・中坪史典・野口隆子・上田敏丈・森暢子
2. 発表標題 園長・施設長が捉えるカリキュラム編成に関する一考察
3. 学会等名 日本保育学会第70回大会,
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中坪史典・秋田喜代美・小田豊・芦田宏・門田理世・鈴木正敏・上田敏丈・野口隆子・箕輪潤子
2. 発表標題 写真評価法 (PEMQ) を用いた園内研修がもたらす環境構成に対する保育者の意識
3. 学会等名 日本教育方法学会第53回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 上田敏丈・秋田喜代美・小田豊・芦田宏・門田理世・鈴木正敏・中坪史典・野口隆子・箕輪潤子・森暢子・椋田善之・淀川裕美,
2. 発表標題 私立幼稚園の主任保育者のリーダーシップに関する研究,
3. 学会等名 日本乳幼児教育学会第27回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Riyo Kadota,
2. 発表標題 Re-weaving ECEC Policies and Practices in Japan; Challenges Beyond Regulation.
3. 学会等名 The 9th International Conference on Korean Society for Early Childhood Education Conference at Convention Hall (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Riyo Kadota
2. 発表標題 Lessons from the Lesson Studies: Preschool Teachers' Ways of Shifting their Practical Mindset through Joint Lesson Studies with Elementary School Teachers.
3. 学会等名 World Association of Lesson Studies 2017 conference (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Akita, Kiyomi
2. 発表標題 Characteristics of Innovative Professional Learning Communities:
3. 学会等名 World Association of Lesson Studies 10th (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Akita,K.Ichizen,H. and Amano,M
2. 発表標題 Japanese parents' expectations and recognition of the benefits of preschool collaborations:A comparison of birth order and age of child.
3. 学会等名 EECERA30th (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Akita,Kiyomi
2. 発表標題 'Book Reading in Japan:Building up the communities of readers
3. 学会等名 Asian Festival of Children's Content (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中坪 史典、箕輪潤子、秋田 喜代美、上田 敏丈、門田 理世、鈴木 正敏、野口 隆子、棕田 義之、森 暢子
2. 発表標題 ミドルリーダーは自らのリーダーシップをどのように発揮しているのか？保育者がやり甲斐を得るまでのプロセス
3. 学会等名 日本発達心理学会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 箕輪 潤子、中坪 史典、秋田 喜代美、上田 敏丈、門田 理世、鈴木 正敏、野口 隆子、棕田 義之、森 暢子
2. 発表標題 ミドルリーダーは自らのリーダーシップを どのように発揮しているのか ??保育におけるミドルリーダーの様々な役割の認識と実践のプロセス
3. 学会等名 日本発達心理学会
4. 発表年 2023年

〔図書〕 計12件

1. 著者名 秋田喜代美	4. 発行年 2018年
2. 出版社 フレーベル館	5. 総ページ数 79
3. 書名 リーダーは保育をどうつくってきたか：事例でみるリーダーシップ研究	

1. 著者名 秋田喜代美・那須信樹	4. 発行年 2018年
2. 出版社 中央法規出版	5. 総ページ数 139
3. 書名 マネジメント	

1. 著者名 小田豊・神長美津子・箕輪潤子	4. 発行年 2019年
2. 出版社 光生館出版	5. 総ページ数 220
3. 書名 保育原理	

1. 著者名 中坪史典	4. 発行年 2018年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 264
3. 書名 質的アプローチで拓く「協働型」園内研修をデザインする-保育者が育ち合うツールとしてのKJ法とTEM-	



1. 著者名 中坪史典編	4. 発行年 2018年
2. 出版社 中央法規出版	5. 総ページ数 97
3. 書名 保育を語り合う「協働型」園内研修のすすめ-組織の活性化と専門性の向上に向けて-	

1. 著者名 中坪史典編	4. 発行年 2018年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 352
3. 書名 テーマでみる保育実践の中にある保育者の専門性へのアプローチ	

1. 著者名 秋田喜代美	4. 発行年 2017年
2. 出版社 ひかりのくに	5. 総ページ数 159
3. 書名 保育の心意気：続々保育の心もち	

1. 著者名 秋田喜代美・野口隆子	4. 発行年 2018年
2. 出版社 光生館	5. 総ページ数 176
3. 書名 保育内容 言葉	

1. 著者名 秋田喜代美（監修・解説）鈴木正敏・淀川裕美・佐川早季子（訳）	4. 発行年 2017年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 212
3. 書名 育み支え合う保育リーダーシップ 協働的な学びを生み出すために	

1. 著者名 棕田善之 亀山 秀郎 編著	4. 発行年 2018年
2. 出版社 ミネルバ書房	5. 総ページ数 196
3. 書名 「保育所・幼稚園実習・幼保連携型認定こども園実習」 MINERVAはじめて学ぶ保育 10	

1. 著者名 野口隆子 無藤隆（編）	4. 発行年 2018年
2. 出版社 ぎょうせい	5. 総ページ数 246
3. 書名 育てたい子どもの姿とこれからの保育	

1. 著者名 秋田喜代美・小田豊・上田敏丈・門田理世・鈴木正敏・中坪史典・野口隆子・箕輪潤子・棕田善之・森暢子・淀川裕美	4. 発行年 2023年
2. 出版社 中央法規出版	5. 総ページ数 368
3. 書名 学びが広がる 学びが深まる 園内研修でもっと豊かな園づくり	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

## 6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	小田 豊 (ODA YUTAKA) (50024998)	聖徳大学・児童学部・教授  (32517)	2021年8月逝去
研究分担者	芦田 宏 (ASHIDA HIROSHI) (20222606)	兵庫県立大学・環境人間学部・教授  (24506)	2022年3月退職
研究分担者	鈴木 正敏 (SUZUKI MASATOSHI) (90273820)	兵庫教育大学・学校教育研究科・准教授  (14503)	
研究分担者	門田 理世 (KADOTA RIYO) (10352197)	西南学院大学・人間科学部・教授  (37105)	
研究分担者	中坪 史典 (NAKATSUBO FUMINORI) (10259715)	広島大学・人間社会科学研究科(教)・教授  (15401)	
研究分担者	上田 敏丈 (UEDQ HRUTOMO) (60353166)	名古屋市立大学・大学院人間文化研究科・教授  (23903)	
研究分担者	野口 隆子 (NOGUCHI TAKAKO) (30383334)	東京家政大学・子ども学部・准教授  (32647)	
研究分担者	箕輪 潤子 (MINOWA JUNKO) (00458663)	武蔵野大学・教育学部・准教授  (32680)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	森 暢子  (MORI NOBUKO)  (10520596)	九州産業大学・人間科学部・准教授    (37102)	
研究分担者	椋田 善之  (MUKUDA YOSHIYUKI)  (00735235)	関西国際大学・教育学部・准教授    (34526)	

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	淀川 裕美  (YODOGAWA YUMI)  (60773158)	千葉大学・教育学部・准教授    (12501)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関